

登録コード	J6170200	開講年度	2026					
授業科目	行政実務					担当教員	丸橋 昌太郎 他	
英文授業名	Administrative Practice					副担当	寺前 慎太郎	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・4時限		対象学年	(20カリ対象科目) 経：3年/法：2年
講義室	経法第2講義室		授業区分	講義	遠隔授業科目			
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】		
	経法20加・総合法律							
	行政や企業などの法務の現場で、法学の基礎理論がどのように機能しているかを理解した上で、実際に法的な問題点を見つけ出し、分析し、法令の正しい理解に基づいて、基準の適用、書類の作成、ルールの設計などを行うことで、法的な解決策や予防策を実践的に企画・立案・実行できる能力を身につける。				法務の現場において法律学の様々な分野の基礎理論がどのように機能しているのかを理解した上で、実際に法的な問題点を見つけ出し、その解決・予防方法の内容や実践の過程について説明することができるようになる。			
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、キャリア							
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、ストラテジー・デザイン人材養成コース、ライフクリエイター養成コース							
(4)授業の概要	本科目では、現代社会を支える法制度やその運用について、実際に実務に携わっている複数名の実務家が各法分野ごとに講義をする。 身近に生じている問題や現代的な問題に関して、法と実社会がどのように関わっているのか、より具体的に・実践的な理解が深められるよう心がけて受講してもらいたい。							
(5)授業計画	講義内容は、そのときの法制度や時事問題を考慮して決定される。 詳細は開講日までに掲示する。 最終回には授業アンケートを行う。							
(6)成績評価の方法	本科目の成績評価は、各回終了後に提出を求める小レポート（授業報告書）と期末試験によって行う。 その内訳は、小レポート40%、期末試験60%とする。							
(7)成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」。							
(8)事前事後学習の内容	各講にて適宜指示する。							
(9)履修上の注意	ガイダンス以外の回をご担当される講師の方々には、普段の業務でお忙しい中、その合間を縫うように本講義にお越しいただいている。そういった講師の方々に気持ちよくお帰りいただけるような誠実な受講態度を強く求める。やむを得ない事情のない限り、遅刻、途中退出、受講生間の私語は認めない。 その他の注意については、初回のガイダンスで直接指示する。							
(10)質問、相談への対応	講師は毎回異なるので講義終了時に講師に直接質問すること。 事後に疑問・相談が発生したときは担当教員にその方法を照会すること。							
【教科書】	一貫して使用する教科書はないが、各講師が適宜指定する場合がある。							
【参考書】	各講師が適宜指定する場合がある。							